※令和４年度以降入学生用

学校番号	301

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「公共」　（第一学習社）						
副教材等	公共ノート　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現実社会の身近な事例をもとに社会に存在する様々な事例や課題、問題について親しみながら学習します。
・社会には多様な考え方があることに触れ、社会と自分との関係性について理解し、社会でのあり方生き方について考えていきます。
・選挙権が１８歳以上に与えられたことに対応するため、政治的教養を育む授業も行います。

２　学習の到達目標

【知識・技能】
・現実社会の諸課題について理解を深めさせ、その解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察する。
【思考・判断・表現】
・現実社会の諸課題について考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
・社会における他者との関わりについて考察し、多様な考え方があることを理解することで、社会に貢献できる人間性を養う。
・諸資料に親しみ、現代の社会に関する思考力を培う。
【主体的に学習に取り組む態度】
・様々な現代の問題について自分なりの意見を持ち、表現することで他者との議論を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現実社会に存在する基本的・発展的な問題や人間としての在り方生き方にかかわる基本的・発展的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。また現実社会の事柄に関する情報を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用する方法を身に付けている。	現実社会の様々な事柄から課題を見出し、多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前	公共的な空間をつくる私たち・公共的な空間における人間としてのあり方生き方	・公共的な空間と人間とのかかわり ・社会に参画する自立した主体として ・人間としてのあり方生き方についての探求 ・選択・判断の手がかりとなる倫理的価値	a:人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いのさまざまな立場を理解し高めあうことのできる社会的な存在であることを理解している。 b:倫理的価値の判断において、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験などを通して、多面的・多角的に考察、表現している。 c:公共的な空間をつくる私たちについて、先哲の生き方などを参考に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題	授業態度 提出課題 小テスト ノート提出

※令和４年度以降入学生用

	公共的な空間における基本的原理・法的な主体となる私たち	・自立した主体となることに向けて ・よりよい公共的な空間づくりをめざして ・法や規範の意義と役割	a:人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:法をよりよく変えていくために、自由権の意味や、社会権が私たちの生活をどのように変えたのか、新しい人権とは何かをさまざまな立場に立って考察している。 c:法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題	授業態度 提出課題 小テスト ノート提出

※令和４年度以降入学生用

後	法的な主体となる私たち・政治的な主体となる私たち	・契約と消費者の権利・責任 ・司法参加の意義 ・政治参加と公正な世論の形成	a:国民の権利を守り、社会秩序を維持するために、公正な裁判が保障され、法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。国会の地位と構成・権限、議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について、理解している。 b:検察審査会や国民の司法参加の意義など、具体的な主題を設定し、その主題を追究・解決するために考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。地方自治には、直接民主制の考え方に基づくしくみが、国政よりも多く取り入れられていることを理解しつつ、地方自治の課題についても考察、構想し、表現している。 c:司法参加の意義について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題	授業態度 提出課題 小テスト ノート提出

※令和４年度以降入学生用

	政治的な主体となる私たち	・国際社会と国家主権 ・日本の安全保障と防衛 ・国際社会の変化と日本の役割	a:国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。人種・民族問題と地域紛争の実態、難民問題にする資料を、さまざまな情報手段を用いて収集し、課題の解決に向けて、国際社会では何がおこなわれているか、理解している。 b:国際社会と国家主権について、国境や領土をめぐる諸課題を主体的に解決するために、必要な情報を収集し、考察、構想している。日本国憲法の平和主義をふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:日本の安全保障と防衛について、国連憲章や日米安全保障条約、平和主義を掲げる日本国憲法の下、現代の諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出課題	授業態度 提出課題 小テスト ノート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度